

地域医療の現場から

関節リウマチは主に手脚の関節の痛みや腫れを起こす病気で、進行すると関節の変形に至ることもあります。

同じ関節痛でも老化によるものとは全く異なり、自己免疫疾患と言われる病気です。本来は細菌などの外来異物から体を守る役割の免疫が、自分の関節内の滑膜という組織を攻撃してしまうため、炎症を起こして腫れや痛みなどが

生じるのです。

治療では痛み止めやヒアルロン酸注射のほか、免疫を調節する薬が使われます。かつて「慢性関節リウマチ」と言われていたことから分かりませんが、風邪など一過性の病気やケガと異なり一定期間の加療で改善・治癒が見込める

ることで寛解(症状がおさまっている状態)に持ち込める可能性も上がってきています。

患者さんによっては、合併症や副作用で薬が使えなかったり、薬物を使用しても効果がなかったりして、関節の変形や痛

最新のリウマチ治療

ものではありませんでした。

しかし、近年はメソトレキセートやタクロリムスといった内服薬や生物製剤という注射薬で、かなり病態を改善させられるようになっていきました。発症早期から治療を始め

みなどの障害が強く現れることもあります。その場合は手術療法を選択します。

手術には、炎症のもとを除去する滑膜切除術、関節形成術など様々な方法がありますが、中でも関節機能を回復しつつ痛みや変形も改善させられ

る人工関節置換術は、特に満足度が高くなっています。また、人工関節置換術の部位も従来から成績の良かった股・膝関節のみならず、肩・肘・足関節、手指などの耐久性や満足度も向上しております。

リウマチかどうか心配だったり、リウマチの診断を受けているが機能障害があり困っているという方は、整形外科医やリウマチ・膠原病内科医にご相談下さい。



セcomedィック病院
整形外科 部長

長島 賢二

医療講演会

「整形外科治療と
リハビリテーション」

11月27日(金) 14時半/
船橋アリーナ/講師:長島
賢二医師/無料/予約不
要/TEL.457-9900